

株式会社マツモト

製造業

ダイカスト部品製造を手がけるメーカー。金型設計から鋳造、熱処理、2次加工まで一貫生産し、アジア各国からの部品輸入も行う技術力の高い企業。

補助事業名	さいたま市DX推進補助金	実施時期	令和6年度
申請テーマ	業務効率化の為の受発注、請求、及び製造・在庫管理DXシステム導入		

情報共有を実現する 生産管理システムの導入

同社はダイカスト部品製造を手がけるメーカーである。金型設計から鋳造、熱処理、2次加工まで一貫して社内で行い、メッキ・塗装は外注に依頼することで、顧客の多様なニーズに対応している。技術力を評価され、大手顧客と直接取引を行っており、市場動向を先読みした設備投資も積極的に実施している。

事業拡大に伴い、顧客数・受注案件数が増加する中で、情報管理の属人化という課題に直面していた。手書きのホワイトボードや担当者の記憶に頼った仕掛品・完成品・出荷の管理では業務効率化に限界があった。特に過去の注文のリピートについては「社内で一番詳しいのが社長」という状況で、人員増加や取引先の増加に伴い、情報共有の難しさが顕著になっていた。金型の使用方法や保管場所、製品管理も複雑化し、特定の担当者しか知らない情報が増え、その担当者が不在の際には業務が滞るなどの問題が生じていた。

これらの課題解決のため、同社はオーダーメイド制の生産管理システムを導入した。このシステムは同社のニーズに合わせて完全カスタマイズされたもので、「受注管理」「外注管理」「金型管理」「品質管理」「材料管理」「従業員管理」などの機能を統合し、現場での業務効率向上を実現している。特に、社長の頭の中にあった情報や各担当者が個別に管理していた情報をシステムの部品マスターに集約することで、情報の不統一や属人化を防止。同時に権限管理によるセキュリティ向上も図られている。製品ごとの管理が一元化され、情報共有の基盤が構築された。

▼ 情報の一元管理（部品マスターに情報を集約）

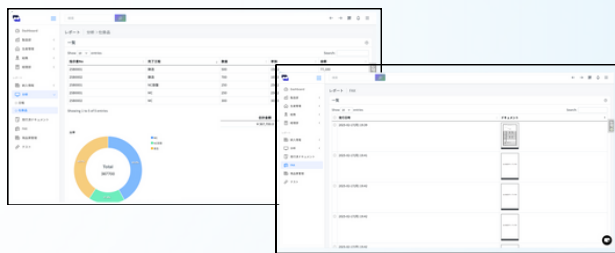


業務効率化がもたらした働き方改革の実現

導入したシステムにより、製品ごとに金型管理・工程管理・生産管理・品質管理・在庫管理が可能となり、社長への確認や現状報告の時間が確実に軽減された。製品毎の注意事項や過去のお問合せ内容等も各担当がそれぞれ把握していて共有できていなかった状況が改善され、システム化で情報を共有し、作業開始時に注意事項や品質資料を表示し担当者に確認してもらうことで、確認もれを防ぎ品質の安定性が向上する見込みだ。

棚卸し時の在庫管理についても、アナログ的かつ属人的な情報からは正確な把握が困難で数量および金額算出に多くの時間がかかっていたが、今後はシステムで進捗データを元に仕掛品を見える化し、工程を経るごとに部材の価値が上昇していくという部品単価の変化に柔軟に対応可能になるため、正確な在庫管理ができるようになる。

▼ リアルタイムな情報分析



▲ アクセスの利便性向上

今後の展望としては、新入社員がこのシステムを活用することで業務に対する理解を促進し、スムーズな業務の立ち上げと迅速な戦力化を目指している。社長の頭の中にある情報をDXシステム内に落とし込むことにより、社内の最新情報や現状確認の手間が軽減され、そこから生み出された時間や労力を海外事業への展開と拡大に効率的に振り向けることを同社は計画している。

Company Data

- 代表取締役：松本 謙二
- 所在地：埼玉県さいたま市岩槻区
- 資本金：1,000万円
- 従業員数：30名
- 設立年月日：1978年6月1日
- URL：<https://www.matsumotodck.com>